

水稲の生育情報

「コシヒカリ」の幼穂形成が始まりました。間断かん水を行いましょう。

概況 (7月1日 水稲定点ほ場調査から)

6月下旬の平均気温と日照時間は、平年並みで推移しました(図)。

水稲の生育は、平年と比較して、草丈は平年より高く、茎数は古河市を除いて少なく、葉色は平年並みになっています。なお、出穂期は遅くなると予測されます(表)。

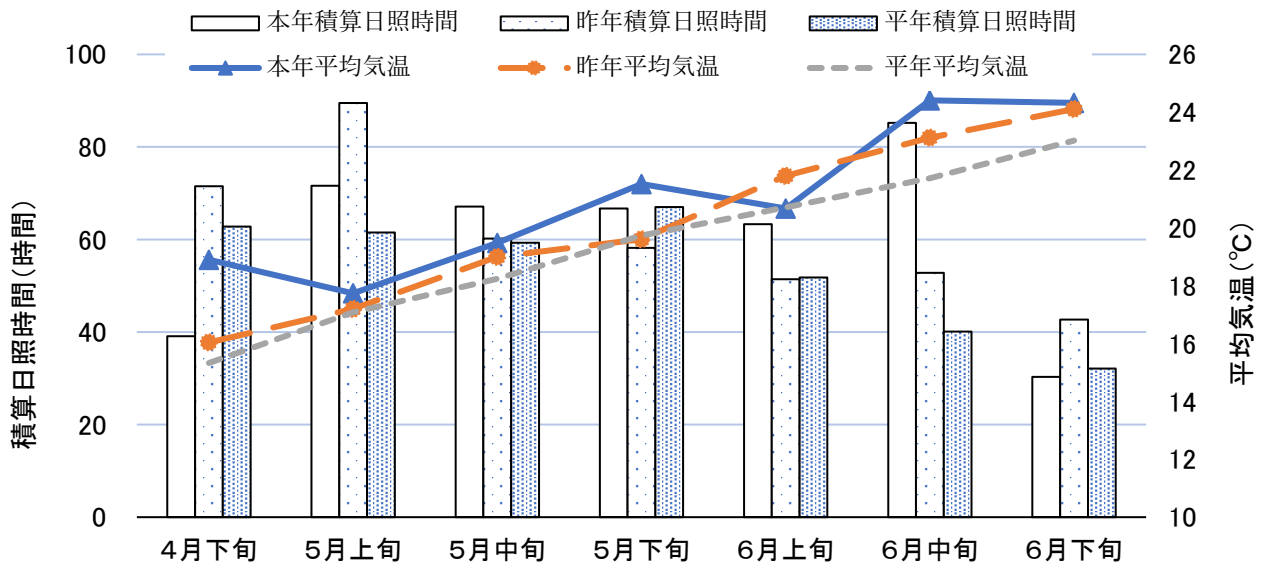


図 4月下旬から6月下旬の旬別平均気温と日照時間(古河アメダス) (注) 平年値は1991年~2020年の平均値

表 定点ほ場の生育調査結果 (令和6年7月1日現在)

品種	調査地点	田植日	植付本数 本/株	栽植密度 株/m ²	草丈 cm	茎数		葉色 葉色板	幼穂長 mm	出穂期 予測
						本/株	本/m ²			
コシヒカリ	坂東市	4/29	4.6	15.2	78.7 (74.4)	35	532 (595)	3.8 (3.8)	6.2	7/27 (7/22)
	境町	4/25	4.5	13.9	80.6 (76.7)	33	452 (596)	3.7 (3.7)	1.4	8/2 (7/24)
	五霞町	5/7	4.8	15.9	77.5 (68.1)	32	515 (537)	3.5 (3.5)	0.2	8/9 (7/30)
	古河市	5/11	4.5	15.9	74.5 (66.8)	32	510 (506)	3.6 (3.6)	1.4	8/2 (7/26)

※()内は過去5年間の平均値。

今後の栽培管理

5月中旬までに移植したほ場では、幼穂形成が始まっています。

中干しを終了し、3~4日間隔で入水と落水を繰り返す「間断かん水」を実施しましょう。

病害虫防除(斑点米カメムシ類対策)

水田へのカメムシ飛来を防ぐために、畦畔除草を行いましょう。ただし、除草後の本田への飛び込みを避けるために水稲の出穂15日前頃までに除草を終わらせましょう。